

宮城県議会議員

杉原たかし

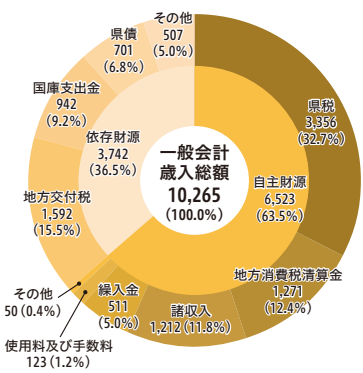
発行者：杉原崇
 事務所：宮城県宮城郡松島町磯崎字磯崎100-29
 連絡先：090-1498-5673
 メール：sugihara.miyagi@gmail.com
 HP：https://be-blue.jp/



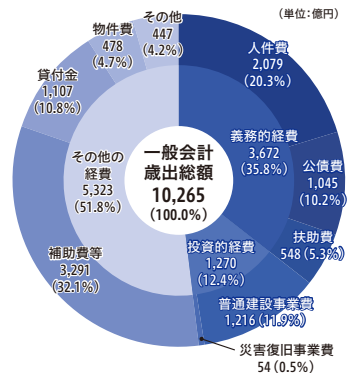
【ご挨拶】

新緑の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より、杉原たかしの議員活動にご指導賜り、感謝申し上げます。皆様のおかげをもちまして、宮城県議会議員として1年半が経過し、私の県政活動報告だよりも今回の発行をもちましてvol.3となりました。さて、2月12日に開会した令和7年2月定例会ですが、3月14日を以て閉会しました。今定例会においては一般質問で16名が登壇し、県政の諸課題について取り上げておりました。また、提出議案として条例改正や補正予算の審議、令和7年度一般会計当初予算(約1兆265億円)の審査などを行い、多くの議案が可決されました。今回、私は予算特別委員会での総括質疑をさせていただきました。国内は本格的な人口減少社会が進んでいますが、特に宮城県においては若い世代の首都圏への流出に歯止めがかからない状況です。少子化に伴う労働人口の減少は地域経済に深刻な影響を及ぼし、行政サービスの低下や公共インフラの老朽化など社会全体に深刻な影響を及ぼす可能性があります。この課題解決のためにも、子供を安心して産み育てられるような切れ目のない少子化対策・環境整備はもちろん、人手不足対策として、質の高い雇用創出や若者の県内定着促進、外国人材の受入確保など持続可能な地域を目指した取組みが必要です。皆様が安心して暮らしていけるように、宮城県が直面する課題を解決しつつ更なる地域発展のため、そして「住みたい街・住み続けたい街・選ばれる街」を目指し、今後も議員活動に励んでまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和7年度当初予算(一般会計)・歳入総額



令和7年度当初予算(一般会計)・歳出総額(性質別)



令和7年度当初予算(一般会計)

【重点項目 1. 人口減少対策】

- 不妊検査費用助成事業(子どもを望む夫婦の不妊検査費用の助成拡充)
- 男性育休取得奨励金(一定期間以上の育児休業を取得した従業員がいる企業に対し、奨励金を交付)

【重点項目 2. DXによる変革みやぎの実現】

- 電子収納促進事業(県民の利便性向上と行政の業務効率化を図るため、全庁的にキャッシュレス決済の導入を進める)
- 入学者選抜出願システム構築事業(ウェブ出願システムの導入による利便性の向上と業務効率化の推進)

【重点項目 3. 半導体をはじめとする成長産業の誘致・育成】

- みやぎシリコンバレー形成支援事業(人材育成や取引創出など生産拠点の柱となる関連企業の誘致活動を推進)

【その他の事業】

- がん診療機能強化事業(県指定)(がん医療レベル向上のための県独自指定病院への支援)
- 商工団体と連携した訪日外国人向けビジネスチャンス創出事業(商機創出に取り組む商工団体への助成)
- 宿泊税導入推進事業(宿泊税導入に向けた周知・広報やレジシステム改修への助成等)

主な事業

第394回県議会(令和6年11月定例会)において、一般質問を行いました



全質問につきましてはインターネット中継をご覧ください。



杉原たかしの情報を発信中!

1 松島湾における景観保全について

- アカマツ・クロマツによって美しい景観が形作られる日本三景松島では松くい虫被害が課題となっており、継続的な防除事業が求められるが、現状の評価と今後の予算に対する考えはどうか。
- 昨年度の被害はピーク時の3割まで減少していることから、これまでの対策が一定の成果を上げている。今後も適切かつ効果的な防除対策の実施に向けて、必要な予算をしっかりと確保する。
- 震災以降、松枯れ被害が拡大し島々の広葉樹林化が進んでおり、より効果的な樹幹注入や抵抗性マツの苗木生産、植栽の推進が必要と思うが、植栽後の維持管理体制も含め所見を伺う。
- 伐倒駆除が増加した箇所において跡地の裸地化や広葉樹林化が見受けられ、そこに抵抗性マツの植栽を進めている。昨年度からは上陸が困難な島しょ部において、ドローンを使ってマツの種などが入った袋を上空から落とすなど植栽以外の方法によりマツ林を再生する取り組みを開始しており、今後も必要な苗木の確保や植栽後の適切な維持管理に努める。

2 カワウの被害実態と対策について

- 松島湾に多数生育しているカワウの糞には多量のリン酸が含まれ青なぎ島にある松が枯れる原因となっている。景観保全の観点から、カワウの適正管理についての考えを伺う。
- 職員が青なぎ島に上陸しカワウの生息状況と松枯れの状態を確認している。多数のカワウが生息するコロニーにおいて、無計画な駆除や追い払いを行った場合、他の場所に拡散させることとなり、被害が拡大する恐れがあることから、専門家の助言を受けながら慎重に検討する必要がある。
- 松島湾内では小型魚類等の水産資源の減少が顕著であり、魚食性鳥類のカワウによる被害の実態調査についてどのように行っているのか。
- カワウによる漁業被害は主に内水面で深刻化しており、アユやサケの稚魚の捕食が確認されている。松島湾においては、今年度から松島町と連携し、カワウの排泄物から捕食されている魚を特定できるDNA分析を取り入れ、調査を開始し、漁業被害の実態把握に努めていく。
- 今後のカワウ対策として、他県において個体数削減に効果を上げているシャープシューティングによる銃器捕獲と繁殖抑制等を組み合わせる必要があるが、捕獲技術者の確保・育成が急務と考えるがどうか。
- シャープシューティングによる駆除はカワウの生態や行動パターン等の把握のほか、的確に駆除する非常に高度な技術が必要であり、費用対効果の検証が必要である。専門家の意見を伺いながら、今後必要な検討を行う。



青なぎ島(カワウのコロニー)

3 県産品の販売支援について

- 物産振興施策の全体を俯瞰し統括する役割を担う売れる商品戦力コーディネーターについて、各委託事業との連携や販路拡大に向けた事業者における活用想定はどうか。
- 各事業で収集したデータや成果を件とコーディネーターが分析し、専門的な助言や他事業の活用の提案などを行う事で、県内の食産業振興に資する取組みをより効果的に展開できる。県内事業者の自立的・戦略的成長をさらに進めていく。
- 福井県では、ふるさと納税の返礼品をアンテナショップでの受け取りに限定し、県産品の認知度向上や購入機会の創出に繋がっており、我が県でもこうした取り組みを検討すべきと考えるがどうか。
- 返礼品をアンテナショップで受け取るにより、実店舗での売上増加を狙ったもので、相乗効果が期待できる。アンテナショップをはじめ、ふるさと納税の仕組みをビジネスチャンスとして捉え、強い関心をお持ちの方々も多数いることから、今後こうした方々との連携を視野に、寄付額と県産品の販売を共に伸ばしていきたい。
- 食や工芸品などの特産品や移住、UIターンなどの就職支援、観光などの総合的な情報発信拠点として、新しいかたちのアンテナショップを検討すべきと考えるがどうか。
- 県が池袋にて運営してきた「宮城ふるさとプラザ」の閉店後、宮城県物産協会が独自に店舗を設置し、引き続き県産品の販路拡大と魅力発信に努められると聞いている。県としては、宮城県物産協会が設置する店舗の状況を伺いながら、県の効果的な情報発信への協力について相談していく。



宮城ふるさとプラザ(日本橋茅場町)

4 次世代空モビリティの社会実装に向けて

- 空飛ぶクルマは自動車産業の振興やものづくり人材の確保だけではなく、社会課題の解決に向けた空飛ぶクルマの社会実装に向けた環境づくりにも繋がると考えるが、今回のデモ飛行に関する意義や成果はどうか。
- ものづくりに対する関心を高めるとともに、空飛ぶクルマの社会受容性の向上を図るため、9/29に一般公開では東北初となるデモ飛行を行った。ものづくりの未来を象徴するようなモビリティに触れる機会を創出することで、特に小さい子供たちに夢を与えられたことは非常に大きな意義があった。
- 観光や地域交通、緊急時の対応など空飛ぶクルマの社会実装に向けて検討すべき段階にあると思うが、具体的かつ実践的な協議する場となる「次世代空モビリティの社会実装に向けた官民協議会」の設立について、考えはどうか。
- 他自治体の官民協議会を参考にしながら、県内関係部局や自治体向けの勉強会を開催するとともに、まずは関心のある企業とのネットワークづくりから取り組んでいきたい。



空飛ぶクルマ(利府町で行われたデモ飛行)

第395回県議会（令和7年2月定例会）において、 総括質疑を行いました



1 沿岸漁場等管理推進事業について

- 令和6年11月定例会の一般質問において取り上げたカワウの適正管理につて、迅速に検討され、新規事業として予算化したことは大いに評価するが、カワウの適正管理事業における具体的な取り組みとは。
- 漁協等がカワウを駆除するために、ハンターや猟友会へ委託する経費等に助成する。また、カワウが捕食する魚種を特定できる糞を用いたDNA分析を拡充する。
- コロニーに生息するカワウの成鳥をエアライフルで集中的に駆除するシャープシューティングの確保・育成を検討すべきと提案したが、その検討状況は。
- 本事業において駆除を専門に行っているシャープシューティング技術者に業務を委託し、我が県に導入した場合の効果検討を行うこととしている。

3 みやぎ子供の心のケアハウス事業について

- この運営支援事業は2026年度で終了する予定だが、利用者が増加している中で不登校解消に繋がっている現状を鑑みると、今後も県として市町村教育委員会に対して財政支援すべきと考えるがどうか。
- 令和8年度以降の市町村への財政支援については、こども家庭庁の支援施策等も探りながら、検討しているところである。

2 養殖業環境変動緊急対策事業について

- 松島湾かき生産に影響を及ぼしているシロボヤ対策として、水深のより深いところで養殖できる延べ縄式の導入や、天日干しによる駆除としてロープを長くすることも必要と考えるが、この事業で活用できるのか。
- 今回の事業の補助要件に合致するものと考えられ、効果的なシロボヤ対策として漁業者に広く活用してもらいたい。
- アコヤガイ真珠養殖は他県で新種ウイルスによる大量死が発生しており、病気が持ち込まれ他の養殖種に感染する可能性がゼロとは言えず、慎重に調査・研究すべきと考えるがどうか。
- 現時点では、主要な生産県からの種苗の移入は予定していない。今後も漁業者等の意見を聞きながら、慎重に調査を進めていく。

4 欧州市場インバウンド促進事業について

- 西日本・九州において、「西のゴールデンルートアライアンス」という新たな団体を発足し、欧米豪からの誘客に力を入れており、プロモーションや魅力ある観光コンテンツづくりにおいて差別化が必要と考えるがどうか。
- 今年開催するアジア・トレイルズ・カンファレンスを最大限活かした強力なプロモーションを行うとともに、世界に誇れる「宮城ならではの」観光コンテンツの創出を推進し、他地域との差別化に取り組んでいく。

宮城県の取り組みについて

■「りふ・みやぎ障がい者雇用推進ネットワーク」の設立

中小企業の障がい者雇用に向け、宮城県・利府町・地元企業・地域の関係機関によるネットワークを令和6年12月に設立しました

今後の取組み

- 町内企業向け理解促進セミナーの開催
- 町内企業を対象とした特別支援学校の見学会
- 企業説明会の開催
- 障がい者支援専門家による個別企業への体制整備支援



■三陸道「松島海岸IC」「松島大郷IC」の改修

宮城県道路公社における事業（総工費約151億円）で、令和7年度以降に工事を本格化させる予定です

- 松島海岸IC（令和13年度末完成予定）
下り線における信号処理による平面交差を解消し、本線をオーバーパスする橋梁を新設する立体構造に改修し、混雑時の渋滞緩和を目指す。
- 松島大郷IC（令和14年度末完成予定）
3カ所に分散している料金所および県道との接続路を1カ所に集約し、誤進入を防ぐ。



計画説明会

議員活動について

宮城県内の課題解決に向けた視察や意見交換、議員の資質向上を目指した勉強会、各イベントへの出席等々、これまでの活動の一部をご紹介します

 大震災復興特別委員会（副委員長） （東京電力との意見交換） * 処理水放出への対応等	 会派役員視察（事務局次長） （大阪府教育長との意見交換） * 高校再編や不登校対策	 会派同期勉強会 （東北観光推進機構） * インバウンド誘致	 会派同期視察 （白石きぼう学園） * 学びの多様な学校（不登校特別校）	 防衛議連（事務局次長） （神奈川県視察） * 陸上自衛隊高等工学校	 水産漁港議連（事務局次長） （徳島県視察） * 三倍体牡蠣の養殖
 日台学校間交流促進 （台北教育局や校長先生との交流） * 教育旅行の受入促進	 就労移行支援事業所視察 （プログラム内容や利用者との交流） * 障がい者雇用の推進や対策	 みやぎアンバサダーサミット （11か国・地域の駐日大使等との交流） * 経済交流・人的交流の拡大	 国内観光活性化フォーラム （全国旅行業協会主催） * 基調講演や出展視察	 CAセガジョイボリス （子どもの遊び場施設について） * 宮城県内での取組み・国内外での展開等	 県政報告会 （R7.1.18実施）
 知事表敬訪問 （施設園芸）	 副知事表敬訪問 （少年野球アジア大会出場）	 利府! 推しスポフェス （モルック体験）	 赤ちゃんハイハイレース （スタートフラッグ）	 餅つき （松島町希望園）	 20歳を祝う会 （祝辞）



■ 県政に対するご意見、ご提言などお聞かせください!

* 過去の活動報告書をご希望される方には直接お届けいたします!

FAX: 022-353-3147 メール: sugihara.miyagi@gmail.com までお願いいたします

お名前	内容：
ご住所	
電話番号	